

Sun Storage 2500-M2 アレイ

ご使用の手引き

このマニュアルでは、オラクルの Sun Storage 2500-M2 アレイの設置手順の概要について説明します。

- Sun Storage 2540-M2 アレイ (ファイバチャネルホスト接続によるコントローラトレイ)
- Sun Storage 2530-M2 アレイ (SAS-2 ホスト接続によるコントローラトレイ)
- Sun Storage 2501-M2 アレイ (拡張トレイ)

詳細については、このマニュアルの手順を通して使用可能な『Sun Storage 2500-M2 アレイハードウェア設置マニュアル』を参照してください。

そのほかのマニュアルは、「この製品のマニュアル」に一覧表示されています。これらはオラクルのマニュアル Web サイトから入手できます。

<http://www.oracle.com/technetwork/documentation/oracle-unified-ss-193371.html>

Sun Storage Common Array Manager

オラクルの Sun Storage Common Array Manager (CAM) ソフトウェアは、Sun Storage 2500-M2 アレイハードウェアの初期構成と操作を行う重要なコンポーネントです。これは、帯域外の Ethernet 経由でアレイに接続されている管理ホスト上にインストールされます (この接続には付属のケーブルを使用)。注: 帯域内管理もサポートされています。

CAM をダウンロードして使用するには、最新の『Sun Storage Common Array Manager クイックスタートガイド』を確認してください。CAM のマニュアルは、次の場所を参照してください。

<http://www.oracle.com/technetwork/documentation/disk-device-194280.html>

注 - ハードウェアの設置完了後すぐにソフトウェアをインストールできるよう、先にダウンロードしておくことをお勧めします。

準備

設置を始める前に、次のマニュアルを参照してください。

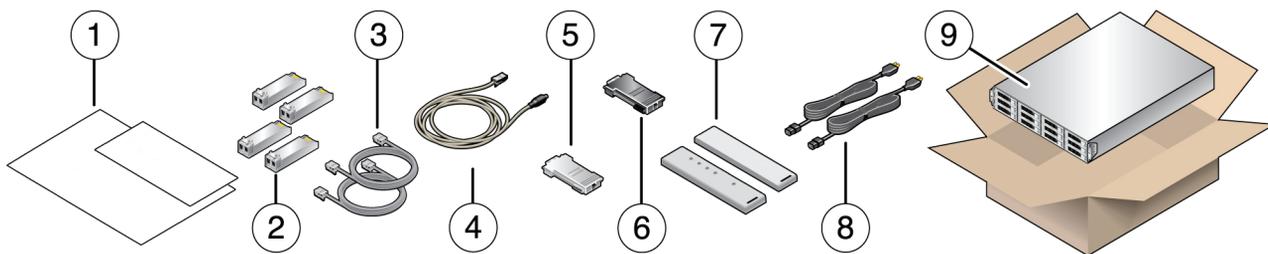
-
- 『Important Safety Information for Sun Hardware Systems』
 - 『Sun Storage 2500-M2 Arrays Hardware Release Notes』
 - 『Sun Storage 2500-M2 Arrays Safety and Compliance Manual』
 - 『Sun Storage 2500-M2 アレイサイト計画の手引き』
-

出荷キットの内容の確認

図 1 に、Sun Storage 2540-M2 アレイ、Sun Storage 2530-M2 アレイ、および Sun Storage 2501-M2 アレイ 拡張トレイ用の出荷キットの内容を示します。次のことを確認してください。

- 購入した構成に応じて、出荷キットには AC または DC 電源ケーブルが含まれています。
- SFP (Small Formfactor Pluggable) は Sun Storage 2540-M2 アレイにのみ付属しています。
- コントローラトレイをデータホスト (SAS またはファイバチャネル) に接続するケーブルは含まれていません。別途購入する必要があります。トレイ間を接続する SAS ケーブルは、Sun Storage 2501-M2 アレイ 拡張トレイの出荷キットに含まれています。注: 6 Gbps SAS-2 ケーブルの最大長は 10 m です。

図 1 コントローラトレイ出荷キットの内容



図中番号	説明	図中番号	説明
1	マニュアル	6	マルチポートの RJ-45 - DB9 アダプタ
2	ファイバチャネル SFP (2540-M2 のみ)	7	ベゼルエンドキャップ
3	RJ-45 - RJ-45 Ethernet ケーブル (1 コントローラモジュールあたり 1 本)	8	電源ケーブル* - AC 構成の場合は AC ケーブル - DC 構成の場合は DC ケーブル
4	RJ-45 - mini-DIN ケーブル	9	コントローラトレイ
5	RJ-45 - DB9 アダプタ		

* 図は AC 電源ケーブルです。

キャビネットの設置とレールキットの取り付け

レールキットを取り付ける前に、キャビネットの設置手順に従ってキャビネットを設置し、固定します。キャビネットにキャスターが付いている場合は、キャビネットが動かないようにキャスターがロックされていることを確認し、正面パネルと背面通気パネルを取り外すか開きます。次に、『調整可能なサポートレールの取り付け』マニュアルにある、レールキットの取り付け手順に従います。

注 - 各トレイには、キャビネットに標準取り付けラックユニット 2 つ (2U) 分の縦スペースが必要です。

キャビネットへのトレイの設置と電源ケーブルの接続

次の手順は、キャビネットにコントローラトレイまたは拡張トレイを設置する方法の概要を示しています。詳細については、ハードウェアの設置マニュアルを参照してください。

注 - トレイの通気は、正面から背面に向かって流れます。適切な通気を確保するため、キャビネットの前に 76 cm (30 インチ)、キャビネットの後ろに 61 cm (24 インチ) の空間的余裕を設けてください。

注 - トレイハードウェアを設置するときには、キャビネットの上部が重くならないようにします。例として、キャビネットの中段にコントローラトレイを配置し、コントローラの上または下に拡張トレイ用の空間を設ける方法があります。

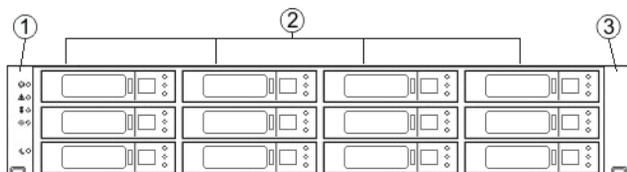
図 2 トレイの設置



手順	作業
1.	2人でトレイを慎重に持ち上げ、左右のレールの下側の棚部分に載せます。 注意: トレイ装置の重さは最大で 27 kg (60 ポンド) になることがあります。
2.	トレイの正面の縁がキャビネットの縦の面に当たり、トレイの背面の縁がサポートレールのクリップに収まるまで、トレイをキャビネットに慎重に押し込みます。
3.	トレイ正面の縁にある中央の穴にねじを挿入し、トレイの正面を固定します (注: ワッシャーが必要な場合がある)。ねじを締めます。
4.	トレイ背面の縁にある穴から各サポートレールにねじを挿入し、トレイの背面を固定します (注: ワッシャーが必要な場合がある)。ねじを締めます。
5.	アレイトレイの正面の縁をカバーするエンドキャップ (ベゼル) を戻します。
6.	トレイの電源スイッチとキャビネットの回路遮断器がオフになっていることを確認します。
7.	各トレイの電源装置を、キャビネットの別々の電源に接続します。

正面パネルの確認

図 3 コントローラトレイと拡張トレイの正面パネル



図中番号 説明

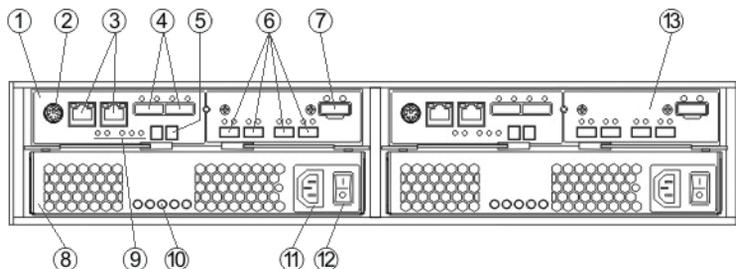
- | | |
|---|-------------------------|
| 1 | 左エンドキャップ (正面パネル LED 付き) |
| 2 | ディスクドライブ |
| 3 | 右エンドキャップ |

背面パネルの確認

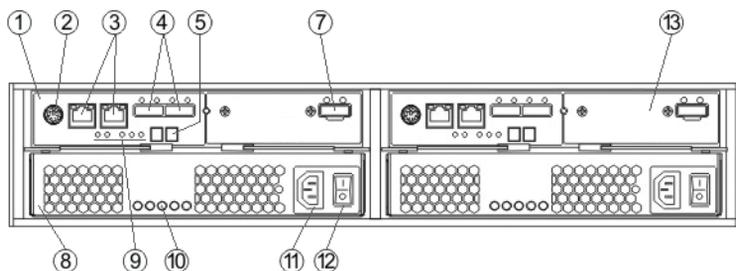
注: 図は AC の電源コネクタとスイッチです。DC 構成も利用できます。詳細については、『ハードウェア設置マニュアル』を参照してください。

図 4 コントローラトレイの背面図

2540-M2



2530-M2

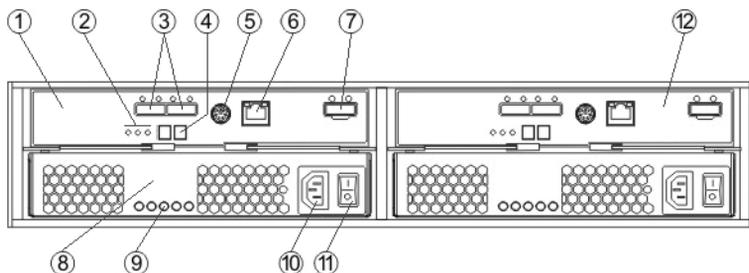


図中番号 説明: 2540-M2 および 2530-M2

- 1 コントローラモジュール A
- 2 シリアルポート
- 3 Ethernet ポート
- 4 SAS ホストポート
(2540-M2 では使用しない)
- 5 7 セグメントのデジタル表示器
- 6 ファイバチャネルホストポート
(2540-M2 のみ)
- 7 拡張ポート
- 8 電源ファンモジュール
- 9 コントローラモジュール LED
- 10 電源ファンモジュール LED
- 11 電源コネクタ
- 12 電源スイッチ
- 13 コントローラモジュール B

図 5 拡張トレイの背面図

2501-M2



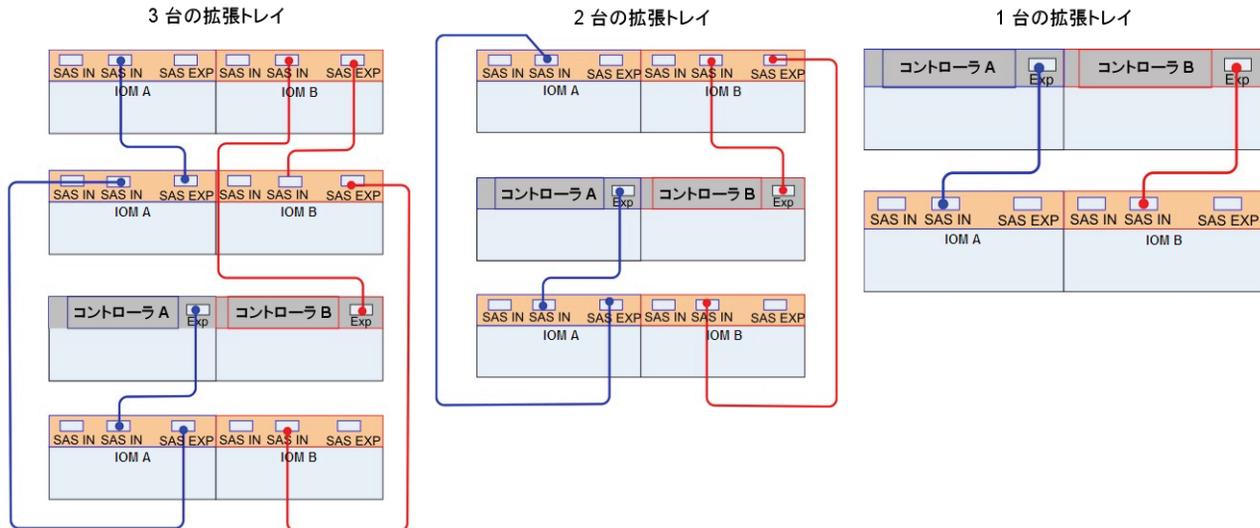
図中番号 説明: 2501-M2

- 1 入力/出力モジュール (IOM) A
- 2 IOM LED
- 3 SAS ホストポート
- 4 7 セグメントのデジタル表示器
- 5 シリアルポート
- 6 Ethernet ポート
- 7 拡張ポート
- 8 電源ファンモジュール
- 9 電源ファンモジュール LED
- 10 電源コネクタ
- 11 電源スイッチ
- 12 IOM B

コントローラおよび拡張トレイの接続

図 6 に、拡張トレイが 1 台、2 台、および 3 台の場合の推奨するケーブル接続を示します。詳細については、『ハードウェア設置マニュアル』を参照してください。

図 6 拡張トレイのケーブル接続構成

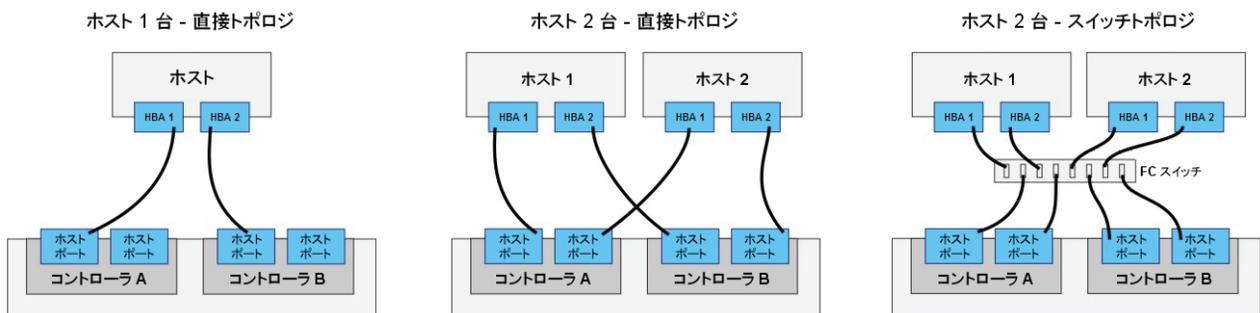


データホストの接続

図 7 に、直接トポロジでホスト 1 台、直接トポロジでホスト 2 台、およびファイバチャネルスイッチトポロジでホスト 2 台の場合のホスト接続構成の例を示します。ファイバチャネル接続の場合 (Sun Storage 2540-M2 のみ)、ケーブル接続する前に、コントローラのホストポートに SFP を差し込みます。詳細については、『ハードウェア設置マニュアル』を参照してください。

注 - SAS ホストインタフェースでは、スイッチトポロジはサポートされていません。

図 7 コントローラとデータホストの接続例



管理ホストの接続

Ethernet ケーブルを、各コントローラの管理ホストのポート (Ethernet ポート 1) から管理ホストの LAN に接続します。注: Ethernet ポート 2 はサポート担当者用に予約されています。

電源の投入と管理ホストソフトウェアのインストール

アレイに電源を投入するには、設置マニュアルの手順に従います。管理ホストに Sun Storage Common Array Manager をインストールします。ダウンロード手順をまだ行っていない場合は、「Sun Storage Common Array Manager」を参照してください。

アレイの初期登録中に、ASR (Auto Service Request) サービスに登録するよう求められます。適切なサポートの対応を受けるため、ASR に登録することをお勧めします。

この製品のマニュアル

Sun Storage 2500-M2 アレイに関するその他のマニュアルは、次の場所から入手できます。

<http://www.oracle.com/technetwork/documentation/oracle-unified-ss-193371.html>

安全性に関する情報の確認	Sun Storage 2500-M2 Arrays Safety and Compliance Manual Important Safety Information for Sun Hardware Systems
既知の問題および回避方法の確認	Sun Storage 2500-M2 Arrays Hardware Release Notes Sun Storage Common Array Manager ソフトウェアリリースノート
サイトの準備	Sun Storage 2500-M2 アレイサイト計画の手引き
アレイの設置	Sun Storage 2500-M2 アレイハードウェア設置マニュアル
管理ソフトウェアの使用を開始する	Sun Storage Common Array Manager クイックスタートガイド
管理ソフトウェアのインストール	Sun Storage Common Array Manager インストールおよび設定マニュアル
アレイの管理	Sun Storage Common Array Manager Array Administration Guide Sun Storage Common Array Manager CLI Guide

オラクルの連絡先情報

ドキュメント	http://www.oracle.com/technetwork/jp/indexes/documentation/index.html
サポート	https://support.oracle.com
トレーニング	https://education.oracle.com

Copyright © 2011, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

Copyright © 2011, Oracle et/ou ses affiliés. Tous droits réservés.



Part No. : E23143-01

Mfg No. : 7010621

2011 年 6 月